

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2007-194917(P2007-194917A)

【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2007-029

【出願番号】特願2006-11210(P2006-11210)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

G 06 T 1/00 500 A

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月14日(2009.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像処理システムであって、

対象画像の撮影シーンを判別するシーン判別部と、

前記対象画像を構成する複数の画素の内の少なくとも一部の値を変更することにより前記対象画像に所定の効果を生じさせるための予め設定された効果処理であって前記対象画像の撮影シーンに対応付けられた効果処理を選択可能に提示すると共に、選択された効果処理を前記対象画像に対して実行すべき効果処理として設定する効果設定部と、を備える、画像処理システム。

【請求項2】

請求項1記載の画像処理システムであって、さらに、

前記対象画像に対して、前記効果設定部により設定された効果処理を実行する効果処理部を備える、画像処理システム。

【請求項3】

請求項2記載の画像処理システムであって、さらに、

前記効果処理部による効果処理実行後の前記対象画像を出力する出力部を備える、画像処理システム。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の画像処理システムであって、さらに、

前記対象画像の撮影シーンに対応付けられた画像補正を前記対象画像に対して実行すべき画像補正として設定する補正設定部と、

前記対象画像に対して、前記補正設定部により設定された画像補正を実行する補正処理部と、を備え、

前記効果処理部により実行される効果処理は、前記補正処理部により実行される画像補正に重畠して前記対象画像に対して実行される処理である、画像処理システム。

【請求項5】

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の画像処理システムであって、前記効果設定部は、前記シーン判別部が複数の撮影シーンが前記対象画像の撮影シーンとして該当すると判別した場合には、前記複数の撮影シーンのそれぞれに対応付けられた効果処理のすべてを提示する、画像処理システム。

【請求項 6】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の画像処理システムであって、前記シーン判別部は、撮影シーンの指定に基づき前記対象画像の撮影シーンを判別する、画像処理システム。

【請求項 7】

画像処理方法であって、  
( a ) 対象画像の撮影シーンを判別する工程と、  
( b ) 前記対象画像を構成する複数の画素の内の少なくとも一部の値を変更することにより前記対象画像に所定の効果を生じさせるための予め設定された効果処理であって前記対象画像の撮影シーンに対応付けられた効果処理を選択可能に提示すると共に、選択された効果処理を前記対象画像に対して実行すべき効果処理として設定する工程と、を備える、画像処理方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の画像処理方法であって、前記工程 ( a ) は、撮影シーンの指定に基づき前記対象画像の撮影シーンを判別する工程である、画像処理方法。

【請求項 9】

画像生成装置であって、  
撮影により画像を生成する撮影部と、  
前記画像を構成する複数の画素の内の少なくとも一部の値を変更することにより前記画像に所定の効果を生じさせるための予め設定された効果処理であって前記画像の撮影シーンに対応付けられた効果処理を選択可能に提示すると共に、選択された効果処理を前記画像に対して実行すべき効果処理として設定する効果設定部と、を備える、画像生成装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の画像生成装置であって、さらに、撮影シーンの指定を受領し、前記撮影時の撮影シーンとして設定するシーン設定部を備える、画像生成装置。